

## 循環型社会形成のための数値目標に関する進捗状況（概要）

第1節 物質フロー指標に関する目標に向けた進捗状況 ※網かけは目標に対して改善していないもの

## 1 目標を設定する指標

		27年度 (目標年)	12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	12年度比	19年度比
資源生産性	万円/ト	42	26.3	32.8	34.7	36.1	36.1	+38%	+0.2%
循環利用率	%	14~15	10.0	12.2	12.8	13.5	14.1	+4.2 ポイント	+0.6 ポイント
最終処分量	一廃 (百万ト)	—	12	8	7	6	6	▲54%	▲13%
	産廃 (百万ト)	—	44	23	21	20	17	▲62%	▲17%
	合計 (百万ト)	23	56	31	28	27	22	▲60%	▲16%

## 2 目標を設定する補助指標

		目標	12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	12年度比	19年度比
土石系資源投入量を除いた資源生産性	万円/t	77 (27年度)	58.3	61.3	63.0	62.9	61.4	+5%	▲2%
廃棄物部門由来のGHG排出量(低炭素社会への取組との連携)	百万 t-CO2	7.8削減 (22年度)	42.2	39.3	37.0	37.1	34.3	▲19%	▲8%

### 3 推移をモニターする指標

		12年度	17年度	18年度	19年度	20年度 (21年度)	12年度比	19年度比 (20年度比)
化石系資源に関する資源生産性	万円/t	102	105	108	108	106	+3%	▲2%
バイオマス系資源投入率	%	5.4	5.9	6.0	6.2	6.5	+1.1 ポイント	+0.3 ポイント
我が国の金属系資源輸入量に関わるTMR	百万t	—	2,110	2,144	2,286	2,239	—	▲2%
循環資源の輸出量	百万t	7.2	21.6	23.9	23.2	22.5 (25.3)	(約3.5倍)	(+12%)
循環資源の輸入量	百万t	3.7	3.9	3.9	4.4	4.9 (4.4)	(+18%)	(▲11%)
総物質消費量	百万t	1,805	1,487	1,421	1,381	1,312	▲27%	▲5%
産業分野別の資源生産性	万円/t	平成15年以降の産業分野別の資源生産性は、製造業（機械類）、建設業、第三次産業のいずれも増加。 平成19年度比では、製造業（機械類）は減少傾向。						

第2節 取組指標に関する目標に向けた進捗状況 ※網かけは目標に対して改善していないもの

1 目標を設定する指標

(1) 廃棄物等の減量化

		27年度 (目標年)	12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	12年度比	19年度比
一般廃棄物の減量化	1人1日当たりのごみ排出量	10%減 (12年度比)	— (1,185g)	4.6%減 (1,131g)	5.9%減 (1,115g)	8.1%減 (1,089g)	12.8%減 (1,033g)	▲12.8ポイント	▲4.7ポイント
	1人1日当たり家庭から排出するごみの量	20%減 (12年度比)	— (654g)	6.7%減 (611g)	8.1%減 (601g)	8.8%減 (597g)	13.0%減 (569g)	▲13.0ポイント	▲4.2ポイント
	事業系ごみの「総量」	20%減 (12年度比)	— (1,799g)	9.7%減 (1,625g)	12.1%減 (1,580g)	16.1%減 (1,509g)	22.2%減 (1,400g)	▲22.2ポイント	▲6.1ポイント
産業廃棄物の減量化	産業廃棄物の最終処分量	—	4,500 万トン	2,423 万トン	2,180 万トン	2,057 万トン	1,751 万トン	▲61%	▲15%
		80%減 (2年度比)	49.4%減	72.8%減	75.9%減	76.9%減	80.3%減	▲30.9ポイント	▲3.4ポイント
		60%減 (12年度比)	—	46.2%減	51.6%減	54.3%減	61.1%減	▲61.1ポイント	▲6.8ポイント

(2) 循環型社会形成に向けた意識・行動の変化

		27年度 (目標年)	19年度	20年度	21年度	22年度	19年度比	21年度比
廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を持つ	ゴミ問題への関心	約 90%	85.9%	86.1%	82.1%	83.8%	▲2.1 ポイント	+1.7 ポイント
	3R の認知度		22.1%	29.3%	40.6%	38.4%	+16.3 ポイント	▲2.2 ポイント
	廃棄物の減量化や循環利用に対する意識		79.3%	48.2%*	70.3%	71.7%	▲7.6 ポイント	+1.4 ポイント
	グリーン購入に対する意識		86.0%	81.7%	81.6%	84.3%	▲1.7 ポイント	+2.7 ポイント
廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入について具体的に行動する	発生抑制 (リデュース)	約 50%	マイバッグ持参、詰め替え製品の使用、ごみの分別などは高い回答率で推移。 再生使用可能な容器を使った製品や再生原料で作られたリサイクル製品の購入など、再生品の購入に関しては減少傾向 マイ箸の利用については、上昇傾向にあるが、未だ取組率は低い状況。					
	再使用 (リユース)							
	再生利用 (リサイクル)							

※平成 20 年度調査では「ある程度心がけている」(47.4%)という選択肢もあったことから、回答が分散したものと考えられる。

(3) 循環型社会ビジネスの推進

			27年度 (目標年)	17年度	18年度	19年度	20年度	17年度比	19年度比	21年度	17年度比	20年度比
グリーン購入の推進	地方公共団体における組織的な取組状況	全庁で組織的に取り組んでいる	100%	33.8%	63.3%	63.2%	62.2%	—	—	60.1%	+26.3 ポイント	▲2.1 ポイント
		全庁ではないが、組織的に取り組んでいる		10.4%	12.8%	13.0%	13.8%	—	—	13.0%	+2.6 ポイント	▲0.8 ポイント
	企業における組織的な取組状況	上場企業	50%	59.9%	65.7%	77.5%	77.8%	+17.8 ポイント	+0.3 ポイント	—	—	—
		非上場企業	30%	51.3%	55.5%	70.3%	70.7%	+19.5 ポイント	+0.4 ポイント	—	—	—
環境経営の推進	IS14001 審査登録状況		—	16,986 (H17.9)	—	19,494 (H19.1)	20,597 (H20.11)	—	—	20,480 (H21.11)	+21%	▲1%
	エコアクション 21 認証取得事業者数		6,000 件	488	1,115	1,938	2,926	—	—	4,084 (H21) 5,438 (H22)	約 11 倍	+33% (H21 比)
	環境報告書を作成・公表している企業の割合	上場企業	—	47.0%	51.8%	48.8%	51.6%	+4.6 ポイント	+2.8 ポイント	—	—	—
		非上場企業	—	24.6%	28.0%	26.9%	29.3%	+4.7 ポイント	+2.4 ポイント	—	—	—
	環境会計を既に導入している企業の割合	上場企業	—	37.5%	39.8%	37.2%	36.4%	▲1.1 ポイント	▲0.8 ポイント	—	—	—
		非上場企業	—	22.7%	22.4%	20.0%	19.9%	▲2.8 ポイント	▲0.1 ポイント	—	—	—
循環型社会ビジネス市場の拡大	市場規模	H12 年度比	2 倍	1.17	1.23	1.35	1.32	+16 ポイント	▲2 ポイント	—	—	—
		億円	—	38 兆 6,089 億円	40 兆 6,206 億円	44 兆 5,453 億円	43 兆 8,213 億円	+5 兆 2,124 億円	▲7,240 億円	—	—	—
	雇用規模 (万人)	—	86 万人	96 万人	96 万人	94 万人	+8 万人	▲2 万人	—	—	—	
個別リサイクル法・計画等の着実な施行			概ね改善に向かって推移									

## 2 推移をモニターする指標

			12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	12年度比	19年度比	21年度	12年度比	20年度比
レンタル・リース業の市場規模、詰め替え製品出荷率	レンタル・リース業の市場規模	リース業	7兆 6,716億円	7兆 2,761億円	7兆 4,838億円	7兆 4,424億円	6兆 5,761億円	—	—	5兆 7,707億円	▲25%	▲12%
		レンタル業	1兆 5,054億円	1兆 5,789億円	2兆 1,284億円	1兆 9,881億円	1兆 9,619億円	—	—	2兆 111億円	+34%	+3%
	詰め替え製品出荷率	順調に増加している。										
レジ袋辞退率、使い捨て商品販売量	レジ袋辞退率 (マイバック持参率)		—	13.30% (H18.3)	13.92% (H19.3)	15.72% (H20.3)	18.46% (H21.3)	—	—	25.02% (H22.3)	—	+6.56 ポイント
	使い捨て商品販売量 (輸入割り箸)		252億膳 (242億膳)	259億膳 (254億膳)	250億膳 (245億膳)	232億膳 (226億膳)	227億膳 (221億膳)	—	—	193億膳 (187億膳)	▲23%	▲15%
中古品市場規模、リターナブルびんの使用率	中古品市場規模	中古品小売業(骨とう品小売業含む)の年間商品販売額	2,387億円 (H11)	3,569億円 (H16)	—	4,329億円 (H19)	—	—	—	—	—	—
		リターナブルびんの使用率	リターナブルびんの使用量は減少傾向にある。									
「リユースカップ」導入スタジアム数等	リユースカップの導入を実施しているスタジアム		リユース食器等の取組は全体としては広がってきている傾向にある。									
	リユース食器の各イベントにおける使用状況											
地域の循環基本計画等策定数	地域の循環基本計画を策定している市区町村数		—	—	—	985	1,028	—	+4%	—	—	—

			12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	12年度比	19年度比	21年度	12年度比	20年度比
ごみ処理有料化実施自治体率、リデュース取組上位市町村	ごみ処理有料化実施自治体率	有料化対象人口率	33%	43%	43%	44%	45%	+12ポイント	+1ポイント	-	-	-
	リデュース取組上位市町村		-									
資源化等を行う施設数(リサイクルプラザ等)	資源化等を行う施設数(処理能力 トン/日)		-	1,044 (21,266 トン/日)	1,085 (23,652 トン/日)	1,088 (24,155 トン/日)	1,106 (24,699 トン/日)	+6% (17年度比)	+2%	-	-	-
一般廃棄物リサイクル率、集団回収量、リサイクル取組上位市町村、容器包装の分別収集の実施自治体率、各品目別の市町村分別収集量等	一般廃棄物リサイクル率		14.3%	19.0%	19.6%	20.3%	20.3%	+6.0 ポイント	-	-	-	-
	集団回収量		277 万トン	300 万トン	306 万トン	305 万トン	293 万トン	+6%	▲4%	-	-	-
	リサイクル取組上位市町村		-									
	容器包装の分別収集の自治体率		分別収集の実施率は上昇。スチール缶やアルミ缶については99%前後、ペットボトルも98%以上の実施率。									
地方公共団体等主催の環境学習・相互交流会の実施回数、「地域からの循環型社会づくり支援事業」への応募件数	地方公共団体等主催の環境学習・相互交流会の実施回数	3Rに係る環境学習	-	-	-	12,852件	12,837件	-	-	-	-	-
		3Rに係る相互交流会(タウンミーティング)	-	-	-	1,691件	1,159件	-	▲31%	-	-	-
		3Rに係る相互交流会(説明会)	-	-	-	15,960件	18,937件	-	+19%	-	-	-
		3Rに係る相互交流会(視察・見学会)	-	-	-	15,154件	14,616件	-	▲4%	-	-	-

	12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	12年度比	19年度比	21年度	12年度比	20年度比
	「地域からの循環型社会 づくり支援事業」への応 募件数	—	—	—	54件	32件	—	▲41%	—	—